

DAIKEI 2027

2027年度4月入学
大学院入学試験
経済学研究科

募集要項

※本要項の内容に変更が生じた場合、本学入試情報サイトでお知らせしますので、併せてご確認ください。

CONTENTS

目次

募集人員・試験日程 試験時間・配点	2	出願手続	12-14
個別入学資格審査について	3	検定料	14
長期履修制度について	4	出願書類	15-16
選考方法 博士前期課程 一般入試 (研究コース・税理士養成コース・ ベーシックコース)	5	出願時の注意事項 受験票について 受験上の配慮について	16
学内特別入試 (研究コース・税理士養成コース)	6	試験当日の注意 受験上の注意	17
飛び級入試(春季のみ) (研究コース・税理士養成コース)	7	合格発表 入学手続	18
社会人入試 (研究コース・ベーシックコース)	8	入学時納付金納付後の 入学辞退について 入学金、学費および諸会費 (委託徴収金) 奨学金制度	19
外国人留学生入試 (研究コース・ベーシックコース)	9	入試情報開示について 志願者の個人情報保護について	20
博士後期課程 一般入試 社会人入試	10	経済学研究科 経済学専攻 3つのポリシー	21
外国人留学生入試 博士後期課程 早期修了について	11	本学への道順	

募集人員・試験日程

研究科	専攻・課程	募集人員*	試験日	試験場
経済学研究科	経済学専攻 博士前期課程	10名	【秋季】 2026年9月19日(土)	本学 大隅キャンパス (試験会場は当日掲示します)
	経済学専攻 博士後期課程	5名	【春季】 2027年2月20日(土)	

*募集人員は、2027年度入学の全入試制度を合計したもの

試験時間・配点

- ・科目免除対象の場合を除き、実施する試験科目のうちいずれか1つでも受験しなかった場合は、合否判定の対象となりません。
- ・受験科目数に応じ、総点を調整して判定します。

博士前期課程

入試種別	試験科目	試験時間	配点
一般入試 飛び級入試(春季のみ) (1次試験)*	【研究】専門科目 【税理士養成、ベーシック】小論文	9:30~10:30(60分)	100点
	【研究】外国語 【税理士養成】専門科目	11:00~12:00(60分)	100点
	口頭試問	【ベーシック】11:30~ 【研究、税理士養成】13:30~	100点
学内特別入試	【税理士養成】小論文	9:30~10:30(60分)	100点
	口頭試問	【研究】9:30~ 【税理士養成】13:30~	100点
外国人留学生入試	【研究】専門科目 【ベーシック】小論文	9:30~10:30(60分)	100点
	口頭試問	11:30~	100点
社会人入試	口頭試問	9:30~	100点

*飛び級入試の第1次試験合格者に対し書類審査を行います。

博士後期課程

入試種別	試験科目	試験時間	配点
一般入試	外国語	9:30~11:30(120分)	100点
	口頭試問	口頭試問のみ 9:30~ 筆記試験受験者 13:30~	100点
社会人入試 外国人留学生入試	口頭試問	9:30~	100点

個別入学資格審査について

制度の概要

大学院における「個別入学資格審査」とは、本学大学院において、**日本の大学を卒業した者**（博士後期課程を希望する場合は、**修士の学位または専門職学位を有する者**）と同等以上の学力があるかどうかを認定する審査です。認定された者は本学大学院に出願することができます。

対象者

〈博士前期課程〉一般入試、社会人入試における出願資格(1)～(8)または、外国人留学生入試における出願資格(1)・(2)に記載された要件に該当しない者で、2027年4月1日までに22歳に達する者
〈博士後期課程〉一般入試、社会人入試における出願資格(1)～(5)または、外国人留学生入試における出願資格(1)・(2)に記載された要件に該当しない者で、2027年4月1日までに24歳(社会人入試希望の場合は30歳)に達する者

申請期間

【秋季】2026年 7月 6日(月)～ 7月16日(木) [締切日必着]

【春季】2026年11月16日(月)～11月26日(木) [締切日必着]

必要に応じ面接を課す場合があります。

提出書類

①～④は、所定の用紙を下記の本学入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」からダウンロードしてください。



<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>

①個別入学資格審査 申請書

②個別入学資格審査 自己推薦書

大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が判断するために必要な事実を記述してください。枚数に制限はありません。必要な事実には、実務経験で培った技術や過去の業績、研究歴やその業績、取得資格等を含みます。なお、参考となる資料があれば併せて提出してください。ただし、提出された資料は返却できません。

③個別入学資格審査 志望理由書

④個別入学資格審査 研究計画書

⑤最終学校成績証明書および卒業証明書【**原本**】(申請時の情報が正しく記載されたものに限りです。)

- ・日本語・英語・中国語以外の言語で記載されている場合は、各々の日本語訳もしくは英語訳を添付してください。
- ・申請時に本学大学院研究生として在籍している者は、提出を免除します。
- ・提出書類で原本が1部しかなく、再取得が不可能な場合は、原本から正しく複製されたもの(certified copy)であることの証明を受けた後、提出してください。
- ・中国の大学を卒業した場合、「卒業証明書」および「成績証明書」を提出する代わりに、中国教育部のホームページ(<https://www.chsi.com.cn/>)または、CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証報告書」「成績認証報告書」による提出も認めます。発行には一定時間を要しますので、十分な時間の余裕を持って申し込んでください。

⑥返信用封筒(市販の長形3号封筒の宛先に返信先住所を記入し、410円分の切手*を貼ってください。)

※郵便料金が改定された場合は【封書定形料金(50g以内)+速達料金】

申請方法

市販の封筒を使用し、提出書類一式をすべて揃え、「**速達 簡易書留**」で郵送してください。

【送付先】〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学 入試部 宛

結果通知

秋季は2026年7月下旬、春季は2026年12月上旬に、提出された返信用封筒を使って通知します。



長期履修制度について

制度の概要

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限での修了が困難な学生を対象とした制度です。標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することにより学位取得を目指します。

対象者

- (1) 職業を有し、就業している者(自営、正規、臨時の雇用形態は問わない)で、著しく学習時間の制約を受ける者
- (2) 家事、育児、長期介護等により著しく学習時間の制約を受ける者
- (3) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障がいを持っている者で、標準修業年限で修了することが困難である者

※外国人留学生入試での入学者は利用できません。

長期履修期間及び在学年限について

履修期間を延長できる期間は以下の通りとします。なお、長期履修が許可された場合は、取り消しや、許可された期間の延長はできません。

- (1) 博士前期課程にあつては3年または4年。
- (2) 博士後期課程にあつては4年・5年・6年のいずれかとする。

授業料その他の学費について

長期履修学生については、授業料の減免または徴収猶予は行いません。ただし、学外の奨学金についてはこの限りではありません。

申請時期

出願時

オンライン受講について

「長期履修制度」を利用する者は、講義及び演習科目の一部をオンラインで受講することが可能です。オンライン受講が可能な科目は下記の本学入試情報サイトの「入試情報・学費/大学院入試」から「入試ガイドライン」を確認してください。

提出書類

「長期履修制度申請書」を下記の本学入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」からダウンロードしてください。ダウンロード頂いた書類に記入いただき、出願時に提出書類と併に提出していただきます。

入試情報サイト

<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>





選考方法

博士前期課程

一般入試

■出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 日本の大学を卒業した者、または2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程*1を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (7) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)、または2027年3月までに修了見込みの者
- (9) 本学大学院において、個別入学資格審査*2により認められた者

*1 本学では高等教育自学考试および「結業」による修了は16年の課程に含めません。個別入学資格審査で認定を受けてください。

*2 P.3「個別入学資格審査について」をご覧ください。

■試験科目

〈研究コース〉

試験科目	内 容
専 門 科 目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること
外 国 語	英語受験者には、英和辞典を試験当日に貸与します
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

〈税理士養成コース〉

試験科目	内 容
小 論 文	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること
専 門 科 目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること 税理士試験科目1科目以上合格の場合は免除する 免除を希望する場合は、合格証明書の写しを出願時に提出すること
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

〈ベーシックコース〉

試験科目	内 容
小 論 文	時事問題を出題します
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

ベーシックコースは、入学後指導教員による演習を受講し課題研究レポートを提出する必要があります。(原則として本コースから博士後期課程への進学はできません。博士後期課程への進学を希望する場合は、入学後1年以上経過したのちに指導教員の承諾を得て研究コースにコースを変更すると共に修士論文を執筆する必要があります)

学内特別入試

■出願資格

次の(1)～(4)の条件をすべて満たしている者。

- (1) 本学4年次(7セメスター以上)に在籍し、2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 3年次(6セメスター)修了までに、卒業必要単位100単位以上(外国語については卒業に必要な単位すべて)を修得済みの者*¹
- (3) 演習担当教員またはそれに準ずる教員から推薦された者
- (4) 下記(a) (b) いずれか一つを満たしている者
 - (a) (2)の卒業必要単位のうち、高得点の科目順に100単位を選び、その平均点が80点以上であること*²
 - (b) 下記のア～ケのうち、いずれか一つに該当する者(キ・ク・ケはいずれも2024年4月以降に受験したもの)
 - ア. 税理士試験の1科目以上合格者
 - イ. 日本商工会議所簿記検定1級合格者
 - ウ. 法学検定2級以上合格者
 - エ. ビジネス実務法務検定2級以上合格者
 - オ. 実用英語技能検定準1級以上合格者
 - カ. 国際連合公用語英語検定試験B級以上合格者
 - キ. TOEIC (Test of English for International Communication) のスコアが600点以上の者
 - ク. TOEFL (Test of English as a Foreign Language) のスコアがiBT 61点(PBT 500点、CBT 173点)以上の者
 - ケ. 経済学検定試験「ERE」または「EREミクロ・マクロ」の成績がB⁺以上の者

※1 「卒業必要単位100 単位」には、編入学等のためめめないと到達できない場合に限り、単位認定科目を含めることができます。

※2 平均点算出の際は単位認定科目を除きます。

■試験科目

〈研究コース〉

試験科目	内 容
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

〈税理士養成コース〉

試験科目	内 容
小 論 文	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

飛び級入試(春季のみ)

■出願資格

次の(1)(2)の条件をすべて満たしている者。

(1) 学部3年次(本学学部生は6セメスター)に在籍している者。ただし、休学期間は在学期間に含まれません。また、在学留学制度により他大学に在学した期間は在学期間とみなします。

(2) 2年次(本学学部生は4セメスター)修了時に、所属する大学の学部における「卒業に必要な最低修得単位数」の6割以上*を修得し、かつその平均点が85点以上またはその85%以上が「優」の評価を得ていること

*編入学等のため修得単位数が「卒業に必要な最低修得単位数」の6割に満たない場合に限り、単位認定科目を含めることができます。その場合、平均点および割合は、その科目を除いて算出します。

■試験科目

【第1次試験】

〈研究コース〉

試験科目	内 容
専 門 科 目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること
外 国 語	英語受験者には、英和辞典を試験当日に貸与します
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

〈税理士養成コース〉

試験科目	内 容
小 論 文	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること
専 門 科 目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること 税理士試験科目1科目以上合格の場合は免除する 免除を希望する場合は、合格証明書の写しを出願時に提出すること
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

第1次試験合格発表	P.18参照
-----------	--------

【第2次試験】

第1次試験合格者に対し書類審査を行います。

3年次(本学学部生は6セメスター)修了時に、在学する大学の所属学部における「卒業に必要な最低修得単位数」の9割以上(外国語については卒業に必要な単位すべて)を修得し、かつ成績が優秀である者を最終合格者とします。

最終(第2次試験)合格発表	P.18参照
---------------	--------

注意事項

合格者は、2027年3月31日までに所属する大学の退学手続きを執ってください。また、大学は「中途退学」となりますので、大学卒業を要件としている資格試験等を受験できない場合があります。

社会人入試

■出願資格

次の各項のいずれかに該当し、社会人(有職者)としての実務経験が大学院入学時において2年以上の者。ただし、専修免許状取得志望者については、以下の条件のほか、中学校「社会」、高等学校「地理歴史、公民、商業」いずれかの一種免許状を所持していることが必要です。

なお出願時点において在留資格が「留学」の者は出願できません。

- (1) 日本の大学を卒業した者、または2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程^{*1}を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (7) 旧制学校等を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号)
- (8) 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者(昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号)、または2027年3月までに修了見込みの者
- (9) 本学大学院において、個別入学資格審査^{*2}により認められた者

※1 本学では高等教育自学考试および「結業」による修了は16年の課程に含めません。個別入学資格審査で認定を受けてください。

※2 P.3「個別入学資格審査について」をご覧ください。

■試験科目

〈研究コース〉〈ベーシックコース〉

試験科目	内 容
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書および職務経歴書に基づき行います

ベーシックコースは、入学後指導教員による演習を受講し課題研究レポートを提出する必要があります。(原則として本コースから博士後期課程への進学はできません。博士後期課程への進学を希望する場合は、入学後1年以上経過したのちに指導教員の承諾を得て研究コースにコースを変更すると共に修士論文を執筆する必要があります)

外国人留学生入試

本学大学院外国人留学生入試の出願に際しては、入学までに「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を取得または更新できることが条件です。

■出願資格

次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ(4)を満たす者。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程^{*1}を修了した者、または2027年3月までに修了見込みの者
- (2) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者、または2027年3月までに卒業見込みの者
- (3) 本学大学院において、個別入学資格審査^{*2}により認められた者
- (4) 日本語能力試験N2以上もしくは実用日本語検定600点(C級)以上を修得している者

※1 本学では高等教育自学考试および「結業」による修了は16年の課程に含めません。個別入学資格審査で認定を受けてください。

※2 P.3「個別入学資格審査について」をご覧ください。

■海外からの受験

- (1) 海外在住者の受験は4月入学入試(秋季)のみとします。
- (2) 本学では志願者に対し発行できるものは受験票のみとなります。受験票以外の書面は発行できません。
- (3) 本学が発行する書類等の送付先は、日本国内の住所のみとします。
- (4) 出願手続後、受験のための短期査証が取得できなかった場合でも、検定料はお返ししません。事前に査証取得に関する要件を充分確認してください。
- (5) 出願書類「住民票の写し」「在留カードの両面コピー」を「パスポートのコピー(氏名、番号、査証内容の記載および写真の貼ってあるすべてのページのコピー)」に代えて提出することができます。
- (6) 出願書類に不備があり、出願期間中に提出が間に合わない場合は受理できません。
- (7) 出願書類に虚偽の記載がある場合には、入学を取り消すことがあります。

■試験科目 試験は原則日本語で行いますが、英語での受験を認める場合があります。

〈研究コース〉

試験科目	内 容
専 門 科 目	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

〈ベーシックコース〉

試験科目	内 容
小 論 文	時事問題を出題します
口 頭 試 問	志望する指導教員の専門・関連分野に関する口頭試問を研究計画書に基づき行います

ベーシックコースは、入学後指導教員による演習を受講し課題研究レポートを提出する必要があります。(原則として本コースから博士後期課程への進学はできません。博士後期課程への進学を希望する場合は、入学後1年以上経過したのちに指導教員の承諾を得て研究コースにコースを変更すると共に修士論文を執筆する必要があります)

一般入試

■出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位や専門職学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校)を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、個別入学資格審査*により認められた者
- (7) 本学大学院において、個別入学資格審査*により認められた者

※P.3「個別入学資格審査について」をご覧ください。

■試験科目

試験科目	内 容
外 国 語	志望する指導教員の「入試ガイドライン」に基づく 必要な科目を志願票に記入すること 英和辞典使用不可
口 頭 試 問	専攻分野に関する論文(修士論文を含む)に基づき行います

社会人入試

■出願資格

入学時満30歳以上であり、以下の各項のいずれかに該当する者。**なお出願時点において在留資格が「留学」の者は出願できません。**

- (1) 修士の学位や専門職学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校)を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、個別入学資格審査*により認められた者
- (7) 本学大学院において、個別入学資格審査*により認められた者

※P.3「個別入学資格審査について」をご覧ください。

■試験科目

試験科目	内 容
口 頭 試 問	専攻分野に関する論文(修士論文を含む)に基づき行います

外国人留学生入試

本学大学院外国人留学生入試の出願に際しては、入学までに「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を取得または更新できることが条件です。

■出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国人留学生として日本の大学院において、修士の学位や専門職学位を授与された者、または2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 本学大学院において、個別入学資格審査*により認められた者

*P.3「個別入学資格審査について」をご覧ください。

■海外からの受験

- (1) 海外在住者の受験は4月入学入試(秋季)のみとします。
- (2) 本学では志願者に対し発行できるものは受験票のみとなります。受験票以外の書面は発行できません。
- (3) 本学が発行する書類等の送付先は、日本国内の住所のみとします。
- (4) 出願手続後、受験のための短期査証が取得できなかった場合でも、検定料はお返ししません。事前に査証取得に関する要件を充分確認してください。
- (5) 出願書類「住民票の写し」「在留カードの両面コピー」を「パスポートのコピー(氏名、番号、査証内容の記載および写真の貼ってあるすべてのページのコピー)」に代えて提出することができます。
- (6) 出願書類に不備があり、出願期間中に提出が間に合わない場合は受理できません。
- (7) 出願書類に虚偽の記載がある場合には、入学を取り消すことがあります。

■試験科目

試験科目	内 容
口 頭 試 問	専攻分野に関する論文(修士論文を含む)に基づき行います

博士後期課程 早期修了について

博士後期課程の標準修業年限は3年ですが、特に優れた研究業績を既に有する場合は、在学期間を最短1年で博士号(課程博士)を取得できる場合があります。(ただし、博士前期課程もしくは修士課程を2年未満で修了した場合など、最短が1年ではない場合があります)

この制度の利用を前提に受験を希望する志願者は、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試とも出願する前に、指導を希望する教員に必ず連絡を取った上で相談してください。

出願手続

※出願期間内に「志願票・写真票・出願書類（一部）の提出」「検定料納付」「出願書類（WEB提出以外）の郵送」のすべてを完了してください。

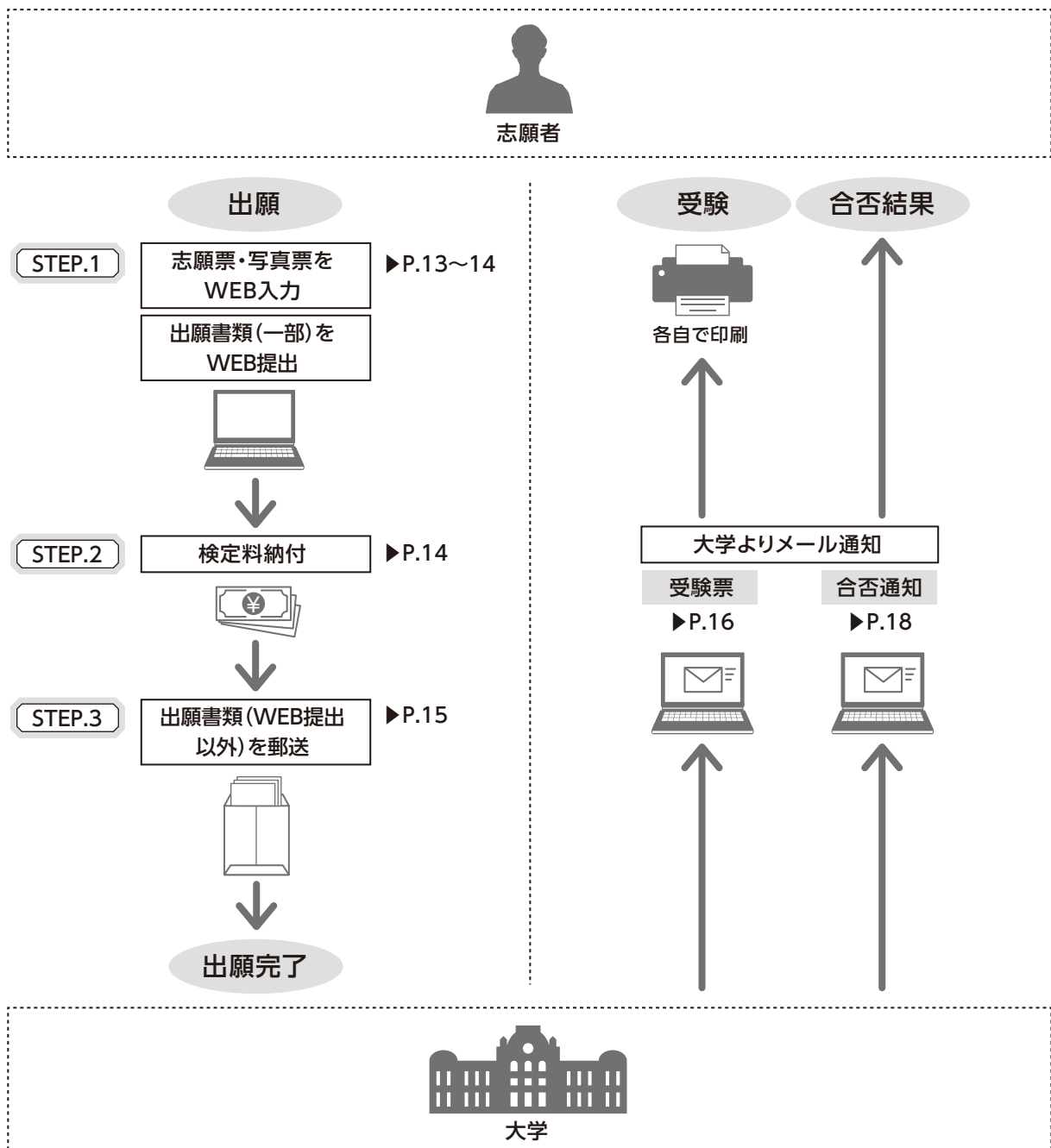
出願期間	【秋季】2026年8月24日(月)～9月3日(木) 締切日必着 【春季】2027年1月4日(月)～1月14日(木) 締切日必着
書類宛先	〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学 入試部 宛 速達簡易書留 宛名ラベルは本学入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」から印刷してください。 宛名ラベルが印刷できない場合、上記宛先を封筒に転記してください。

出願方法は **WEB出願** です。

受験票および合否通知は、本学からメール通知いたします。

出願・受験・合否発表の流れ

WEB出願の手順は、本学入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」の「WEB出願の手順」をご参照ください。



事前準備

- ①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレットの準備
ご家庭にない場合は、学校や図書館など自宅外のパソコンからも出願できます。
- ②プリンタの準備
(1) 検定料振込依頼書および宛名ラベルの印刷に必要です。
(2) 受験票の印刷に必要です(P.16参照)。
- ③利用可能なメールアドレスの準備
出願受付完了メール、検定料振込依頼書、受験票、合否通知等のダウンロード案内メールが届きます。受験終了まで変更・削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。
メールアドレスがない場合、フリーメール(Gmail、Yahoo!メールなど)を取得してください。ドメイン指定受信をしている場合は、“@osaka-ue.ac.jp”からのメールが受信できるようにあらかじめ設定してください。当該設定がなされていないことにより志願者が不利益を被っても、本学は一切関知いたしません。
- ④出願に必要な書類の準備(P.15参照)
卒業証明書や成績証明書など、発行に時間がかかる場合がありますので事前に準備しておいてください。
- ⑤角型2号(角2)封筒(240mm×332mm)の準備
出願に必要な書類を郵送するため、市販の角型2号(角2)封筒(240mm×332mm)を準備しておいてください。

STEP.1

志願票・写真票・出願書類の提出

- ①本学入試情報サイトからWEB出願フォームにログインし、画面の案内に従って必要な情報を入力してください。
<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>

- ②写真アップロード

出願には、出願写真としてデジタル写真(ファイル形式:JPEG、10MB以内 推奨サイズ640×480ピクセル)が必要です。画面の案内に従ってアップロードしてください。デジタル写真のファイル名は、**志願者氏名(漢字、カタカナ、英字のいずれか)**としてください。

入学試験当日に試験室で、受験者本人とアップロードされた写真を照合します。また、入学が許可された場合、この写真を学生証や教務情報等に使用します。

**出願前3ヶ月以内に正面・上半身脱帽、背景は無地で撮影したもの
(白黒・カラーいずれでもOK)**

【使用不可のもの】

個人を特定しづらいもの(目に髪がかかっている、顔が小さい等)、不鮮明なもの



- ③出願書類アップロード

以下の書類をPDFに変換し、画面の案内に従ってアップロードしてください。書類のファイル名は、志願者氏名(漢字、カタカナ、英字のいずれか)としてください。

1. 研究計画書【全員】
2. 職務経歴書【該当者のみ】
3. 資格証明書(コピー)【該当者のみ】
4. 個別入学資格審査認定通知(コピー)【該当者のみ】

※1.2.の書式は、入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」からダウンロードできます。

※事情によりアップロードできない場合は、他の出願書類と一緒に郵送してください。

※上記以外の出願書類は、郵送してください。

④必要なすべての登録が完了すると、WEB出願完了メールが届きます。

同メールにて整理番号と、検定料振込依頼書および宛名ラベルのダウンロード方法を通知します。整理番号は、検定料振込依頼書に記入してください。

⑤メールの案内に従って「マイページ登録」すると、出願情報が確認できます。

⑥出願情報に入力漏れや誤入力があった場合、すみやかに下記までご連絡ください。

電話:06-6328-2003(入試部直通)

メール:in-nyushi@osaka-ue.ac.jp

本人確認のため、整理番号をお聞きします。メールの場合、メール本文に整理番号を入力してください。

STEP.2



検定料

検定料	35,000円(いったん納付された検定料は、返還いたしません。)												
納付期間	【秋季】2026年8月24日(月)～9月 3日(木)(期間内本学口座必着) 【春季】2027年1月 4日(月)～1月14日(木)(期間内本学口座必着)												
納付方法	<p>納付方法</p> <p>①ダウンロードした検定料振込依頼書を使用し、金融機関窓口で手続きしてください(郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。また、農協等で一部取り扱いえない所もあります)。三井住友銀行(本・支店)窓口で振り込む場合は振込手数料が無料になります。</p> <p>②検定料振込後、領収書を受取り、所定の欄に取扱銀行収納印が押印されているか確認してください。</p> <p>③領収書は各自が保管してください。</p> <p>④ATM、インターネットバンキングなどからの納付も可能です。その場合、振込依頼人名欄には「整理番号」に続けて「志願者氏名」を入力してください。なお、振込手数料は振込者の負担となります。「利用明細書のコピー」または「インターネットの振込完了画面のコピー」を、出願書類に同封してください(原本は本人保管)。</p> <p>※海外からの送金について(期間内本学口座必着) 海外から送金する場合は、日本における銀行の手数料を加算して、下記の口座に日本円で35,000円(検定料)が入金されるように送金してください。 金額に不足があれば受理できません。送金小切手は取り扱いできません。</p> <table border="1"> <tr> <td>Bank</td> <td>SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION</td> </tr> <tr> <td>Branch</td> <td>TENROKU BRANCH</td> </tr> <tr> <td>Branch Address</td> <td>6-4-20, Tenjimbashi, Kita-ku, Osaka-shi, Osaka, 530-0041, Japan</td> </tr> <tr> <td>Account Name</td> <td>OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS</td> </tr> <tr> <td>Account Number</td> <td>286800</td> </tr> <tr> <td>SWIFT code</td> <td>SMBC JP JT</td> </tr> </table> <p>受取人宛通知事項には、志願者氏名を必ず記入してください。 Please make sure to write the applicant's name in the Message to Payee field.</p>	Bank	SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION	Branch	TENROKU BRANCH	Branch Address	6-4-20, Tenjimbashi, Kita-ku, Osaka-shi, Osaka, 530-0041, Japan	Account Name	OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS	Account Number	286800	SWIFT code	SMBC JP JT
Bank	SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION												
Branch	TENROKU BRANCH												
Branch Address	6-4-20, Tenjimbashi, Kita-ku, Osaka-shi, Osaka, 530-0041, Japan												
Account Name	OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS												
Account Number	286800												
SWIFT code	SMBC JP JT												

STEP.3

出願書類

本学入試情報サイト「入試情報・学費▶大学院入試」から宛名ラベルを印刷し、市販の封筒に貼り付けて出願書類を郵送してください。

◎：提出必須 ○該当者のみ提出要

提出書類	注意事項	博士前期				博士後期		
		一般 飛び級	学内 特別	社会人	留学生	一般	社会人	留学生
1 志願票	WEB出願フォームに入力	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
WEB 2 写真	WEB出願フォームにアップロード 1枚 入学が許可された場合、この写真を 学生証や教務情報等に使用します。 ●出願前3カ月以内に撮影 (白黒・カラーいずれでもOK) ●正面・上半身脱帽で、背景は無地で撮影 【使用不可のもの】 ・個人を特定しづらいもの(目に髪がかかっている、顔が小さい等) ・不鮮明なもの ・プリントアウトした写真を撮影したもの 	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
WEB 3 研究計画書	本学所定の用紙(手書不可、日本語で作成すること) 外国人留学生入試出願者のみ英語も可とする	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4 資格証明書の コピー	試験科目の免除がある場合または学内特別入試の出願資格(4)(b)で出願する場合に提出すること	○	○		○	○		
5 職務経歴書	本学所定の用紙(手書不可、日本語で作成すること)			◎			◎	
6 個別入学資格審査 認定通知書のコピー	個別入学資格審査により出願を許可された場合は、本学から送付した通知書のコピーを提出してください。	○		○	○	○	○	○
7 成績・単位修得 証明書(学部)	出身大学が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。	◎	◎	◎	◎			
7 卒業(見込) 証明書(学部)	出身大学が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。 (飛び級入試志願者は、3年次在学証明書)	◎	◎	◎	◎			
8 成績・単位修得 証明書(修士課程)	出身大学院が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。					◎	◎	◎
8 修士学位取得 (見込)証明書	出身大学院が作成したもの【原本】 出願時の情報が正しく記載されたものに限りします。					◎	◎	◎
9 推薦書	本学所定の用紙(学内特別入試に出願する場合)		◎					
全 員 郵 送 10	下記のいずれかを提出すること (日本の4年制大学卒業(見込)生は不要) ①日本語能力試験N2以上もしくは実用日本語検定600点(C級)以上のいずれかの成績通知書(証明書)または認定書のコピー(2024年4月以降に受験したもの) ②本学所定の日本語能力認定書(日本語学校等の機関において日本語能力に関する証明を受けたもの)				○			
11	日本語教育機関等の証明書				○			
12	住民票の写し(コピー不可)	○	○	○	◎	○	○	◎
13	在留カードの両面コピー	○	○	○	◎	○	○	◎
14	論文および要旨					◎	◎	◎
15	教員免許状(一種)	◎	◎	◎	◎			
	専修免許状取得希望者のみ 専修免許の取得を希望する科目の一種免許状のコピーもしくは取得見込証明書を提出してください。	○	○	○	○			

■ 志望する指導教員について

出願時に指導教員を選択する際は、下記の本学入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」から各研究科の「入試ガイドライン」で最新の情報を確認した上で記入してください。

本学入試情報サイト <https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>



■ 提出書類7・8について

- ・ 日本語・英語・中国語以外の言語で記載されている場合は、各々の日本語訳もしくは英語訳を添付してください。
- ・ 出願時に本学大学院研究生として在籍している者は、提出を免除します。
- ・ 提出書類で原本が1部しかなく、再取得が不可能な場合は、原本から正しく複製されたもの (certified copy) であることの証明を受けた後、提出してください。
- ・ 中国の大学を卒業した場合、「卒業証明書」および「成績証明書」を提出する代わりに、中国教育部のホームページ (<https://www.chsi.com.cn/>) または、CHSI中国学歴・学籍認証センター日本代理機構が発行する「学歴認証報告書」「成績認証報告書」による提出も認めます。発行には一定時間を要しますので、十分な時間の余裕を持って申し込んでください。
- ・ 本学卒業・修了(見込)生は入学金が免除されますので、本学卒業・修了(見込)証明書を出願時に提出してください。

■ 提出書類3・5・9・10-②について

本学入試情報サイトの「入試情報・学費▶大学院入試」からダウンロードしてください。

出願時の注意事項

- (1) 本学が指定する出願書類以外の書類を提出された場合、本学で処分します。予めご了承ください。
- (2) 記載内容に虚偽の内容がある場合は、入学を取り消すことがあります。
- (3) 旧姓名で発行された証明書がある場合は、志願票の旧姓欄にも記入してください。
- (4) 国内外を問わず、本学の許可なく他大学院等に在籍し同時に本学研究科に在籍する、いわゆる二重学籍はできません。

受験票について

受験票の郵送はありません。試験日の2週間前を目処に志願者が登録したメールアドレス宛に受験票のダウンロード方法を通知します。各自で受験票を確認し、**A4サイズの普通紙にタテ方向・原寸大で印刷し、試験当日に持参してください。**スマートフォンやタブレット等電子機器による受験票の提示は認めません。試験日の3日前までに受験票の案内メールが届かない場合、すみやかに下記までご連絡ください。

電話：06-6328-2003(入試部直通)

メール：in-nyushi@osaka-ue.ac.jp

本人確認のため、整理番号をお聞きします。メールの場合、メール本文に整理番号を入力してください。

なお、試験終了後の受験票未着に対するお問い合わせには一切応じません。

受験上の配慮について

■ 疾病・負傷や身体機能等の障がいのため、受験時に配慮を必要とされる場合

原則として**出願する1カ月前までに**入試部へご相談ください。



申請書(本学所定様式)と診断書等を提出いただき、記載内容と障がい等の程度に応じて配慮内容を決定し通知いたします。

※事前に施設や配慮内容等の確認が必要な場合、本学にお越しいただくことがありますので、ご承知おきください。

※出願後の不慮の事故等による負傷・急な疾病等で受験時に配慮を希望する場合は至急入試部に申し出てください。

■ 修学上の配慮については、学習支援課までご相談ください。

試験当日の注意

天候不良等による交通機関への影響に留意し、余裕を持って試験場にお越しください。

大規模な遅延、運休等が発生した場合	試験時間を繰り下げて実施することがあります。 この場合、遅刻限度を超えた時間であっても受験を認める場合があります。すみやかに試験場へ向かい、監督者の指示に従ってください。 なお、受験されなかった場合の特別な措置や入学検定料の返還および追試験・再試験は行いません。
試験場への交通手段	公共交通機関を利用してください。 試験場に駐車場はありませんので、自家用車での送迎はご遠慮願います。 また、渋滞、事故等による遅刻は一切配慮いたしません。
自然災害(大雪、地震、台風、洪水等)、火災、停電、その他本学の責によらない不可抗力による事故等が発生した場合	本学の判断により試験時間を繰り下げて実施することがあります。 ただし、その際発生した受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。
試験時間の繰り下げ等変更が生じる際の本学から受験者への連絡	本学入試情報サイトでを行います。 https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/
試験時間中の生活騒音に対する対応	特別な対応はいたしません。 (生活騒音の例) 雨・風・雷の音、交通騒音、緊急車両のサイレン、工事の音、試験室内の空調・照明の発する音、動物の鳴き声、監督者による試験実施に必要な指示・説明・巡回・打合せ等の際生じる音、他の受験者・監督者の発する音(くしゃみ、咳、鼻をすする音)等

受験上の注意

試験室では監督者の指示に従ってください。

受験票	必ず持参してください。
試験室への入室	試験当日は試験開始の20分前までに試験室へ入室してください。
遅刻限度	試験開始時刻より30分以上遅刻した場合は受験できません。
試験座席	試験室では机の上に受験番号札を置いています。 指定された席に着き、受験票は受験番号札の手前に提示してください。
試験時間中に机の上に置けるもの	受験票、黒鉛筆(シャープペンシル可)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)、時計(計時機能だけのもの)、その他本学が認めたもの。 これら以外の所持品はかばんに入れて足元に置いてください。
携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の通信機器、音の出る機器の使用	禁止します。 これらを時計として使用することはできません。 試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切ってかばんに入れておいてください。
時計の使用	計時機能のものに限ります。 時報、アラーム等音の出る設定は解除しておいてください。 計時以外の機能のついたものや機能の有無が判別しづらいもの、また音の出るものやストップウォッチ、キッチンタイマー等の場合は、試験終了まで入試本部で保管することがあります。
不正行為に該当する行為	監督者の指示に違反、または以下のような行為が認められた場合は直ちに試験の中止を命じ、全試験を無効とします。また、警察に被害届を提出する場合があります。 (1) 替玉受験 (2) 机の上に置けるもの以外(カンニングペーパー、教科書、辞書、参考書、電卓・電子辞書等の電子機器類、携帯電話・スマートフォン等の通信機器)の使用 (3) 答案の交換、他人の答案ののぞき見やそれを補助する機器の使用等 (4) 試験を妨害する、他の受験者に迷惑をかける行為をすること等

(注意) 大学周辺の路上および上新庄駅、瑞光四丁目駅付近等で合否連絡を取扱う者や下宿案内のパンフレットおよびピラ等を配布している者は、大学とは一切関係ありませんので注意してください。また最寄り駅から大学入り口付近までの間のトラブルには十分注意してください。

合格発表

合格発表日時	【秋季】 2026年10月7日(水) 13:00 【春季】 2027年 3月5日(金) 13:00 【飛び級入試(春季のみ)】 1次試験2027年3月5日(金) 13:00 2次試験2027年3月9日(火) 13:00
通知方法	合否通知の郵送はありません。 合格発表日時に、受験票通知と同じメールアドレス宛に合否通知のダウンロード方法を通知します。各自で確認してください。
合否に関する電話での問い合わせ	一切応じません。

入学手続

合格者は次の入学手続を行ってください。入学手続を完了した者に入学を許可します。

入学金、学費および諸会費(委託徴収金)の振込用紙は、合否通知メールからダウンロードしてください。

入学金、学費および諸会費(委託徴収金)の納付期間	【秋季】 2026年10月7日(水)～11月4日(水) [期間内本学口座必着] 【春季】 2027年 3月5日(金)～3月19日(金) [期間内本学口座必着] 【飛び級入試(春季のみ)】 2027年3月9日(火)～3月19日(金) [期間内本学口座必着]
入学に必要な書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合格者には、入学に必要な書類を郵送します。記載事項に従って指定された期日(2027年3月19日)までに提出してください。 ・ 合格者で入学手続をしていたとしても、2027年3月31日までに卒業(修了)できない者は、入学を取り消します。 ・ 受験時に卒業(修了)見込の条件で入学を許可された者は、卒業(修了)証明書の提出が必要です。 ・ 外国人留学生入試合格者の入学に際しての「保証人」は、下記に該当する者とします。 <p>※保証人は、原則として独立して生計を営む者で、優先順位は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本に在住する親またはその他の親族 ② 日本に在住しない親またはその他の親族 ③ ①、②ともにいない場合に限り、日本に在住する知人等 <p>※保証人は、入学手続時に保証書及び住民票の提出が必要です。保証人が日本国内に在住していない場合は、保証人の住所、氏名が記載された公的機関が発行する証明書が必要です(例:中国の場合…居民戸口簿)。</p> <p>※日本在住の保証人を得られず、本国在住の父母を保証人にする場合は、緊急時の連絡先として、本国の父母に連絡することができる日本在住の連絡人(※)が必要です。</p> <p>※日本在住の連絡人について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出願時に連絡人は必要ありませんが、入学手続時には必要となります。 (1) 連絡人は、在学中、留学生本人に諸問題が発生した場合は、大学と連絡を取り合うこと。 (2) 連絡人は、大学から要請がある場合には、留学生本人への連絡等適切に対応すること。 <p>※連絡人は、日本に在住する兄弟姉妹、配偶者又はその他の親族、友人、知人等で、日本語能力が十分あり、社会人として独立して生計を営む者。</p> <p>※留学生および学生は、保証人、連絡人になれません。</p>

重要 入学時納付金納付後の入学辞退について

下記本学所定の手続きを行った者に限り、**入学金を除く納付金**を返還します。

対象	本学所定の「入学辞退届」を提出した者。 「入学辞退届」は、『入学に必要な書類』(冊子)に綴り込んであります。
入学辞退届の提出期限	2027年3月31日(消印有効)

入学金、学費および諸会費(委託徴収金)

2027年度入学金、学費および諸会費(委託徴収金)は下表の通りです。

(単位:円)

		年 額	春学期	秋学期
入 学 金		200,000	200,000	—
学 費	授 業 料	530,000	265,000	265,000
	施設設備資金	140,000	70,000	70,000
	計	670,000	335,000	335,000
諸会費 (委託徴収金)	大阪経大会費	1,000	1,000	—
合 計		871,000	536,000	335,000

- (1) 本学卒業生、本学大学院修了生および飛び級入試合格者で本学3年次在籍者が入学する場合は、入学金が免除されます。
- (2) 私費外国人留学生には授業料減免を願い出ることができる制度があります(認定基準があります)。詳細は、国際交流課へお問い合わせください。
- (3) 長期履修学生の授業料と施設設備資金は、標準修業年限の授業料と施設設備資金の総額を長期履修期間の年数で均等割りし、学期ごとに納付いただけます。学期ごとの分割金額に千円未満の端数があるときは、端数金額はすべて第1セメスターの学費に合算されます。

長期履修学生の学費詳細はこちら

<https://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>



奨学金制度

大学院経済学研究科奨学金

対 象 者	標準修了年限内に在籍している者
採 用 人 数	各学年最大2名
給 付 額	1学期授業料相当額(秋学期に給付)
採 用 選 考	奨学金統一試験の成績に基づき選考(3月下旬~4月上旬に実施)
担 当	学生課 奨学金係 TEL 06-6328-2431(代表)

入試情報開示について

本学では受験者本人(代理人不可)から請求があれば、当入学試験の成績を開示します。
ただし、過年度(2026年度以前)の開示は行いません。

申請資格	受験者本人に限ります(代理人による申請は受け付けません)
開示内容	①科目別の得点、および総点 ②合格最低点
開示方法	開示請求があったものについて、2週間以内に郵送で成績開示書を交付します
申請期間	2027年4月2日(金)～4月23日(金)
申請方法	入試部窓口へ持参または郵送【締切日消印有効】 窓口受付は、原則として平日9:00～17:00(窓口休業日を除く)
申請に必要な書類	①入学試験成績開示申請書 (本学所定様式 本学入試情報サイトよりダウンロードしてください) ②本学入学試験の受験票 受験票を紛失した場合は、受け付けることができません お預かりした受験票は成績開示書を送付する際に同封します ③460円分切手 返信用として【封書定形料金(50g以内)+簡易書留料金】分の切手を用意してください ④受験者本人であることを証明する公的書類のコピー (学生証・健康保険証・免許証・住民票の写し等)
書類送付先・問合せ先	〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学 入試部 TEL 06-6328-2431(代表)

志願者の個人情報保護について

出願における同意事項について

●大阪経済大学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、出願に際し志願者から提供された個人情報を以下のように利用し、適切に管理いたします。

- (1) 入学試験実施に係わる連絡
- (2) 該当者への合否通知並びに入学手続きのための資料発送
- (3) 学生生活を開始するにあたり大学が必要と判断した事項に関する情報提供
- (4) 教育改善のための調査・研究、および個人を特定しない入試統計データ

ただし、上記の一部について、大学の指定した業者に委託することがあります。この場合も、大阪経済大学と同様、個人情報保護に十分な体制を整えた委託会社を選定し、上記以外の目的には利用いたしません。

◆以下は、WEB出願上での登録をもって「同意した」とし、個人情報保護法を遵守し利用いたします。

- (1) 出願に際し、記入不備または本学では判断できない状況があり、著しく本人が不利益を被ると予想され、本人に連絡がつかない時に、本人に通知することなく出身学校等に連絡をとること
- (2) 今後の入試制度の展開のため、志願者が本学に提供した情報を、個人を特定できない形にして、事前に通知することなく、本学の判断により利用すること



博士前期課程

I ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

研究コース、税理士養成コース、ベーシックコースからなり、修了に必要な要件*を満たし、修士論文あるいは課題研究レポートの審査および最終試験に合格し、以下の要件を満たした者に、修士(経済学)の学位を授与します。

- 研究コースにあつては、経済学あるいは地域政策の専門知識を備え(DP1)、研究に必要な分析能力を身につけている(DP2)。
- 税理士養成コースにあつては、財政学や税法の専門知識を活かし(DP1)、税理士として社会に貢献できる(DP2)。
- ベーシックコースにあつては、経済学あるいは地域政策の専門知識を活かし(DP1)、高度専門職業人として社会に貢献できる(DP2)。

*修了に必要な要件:32単位以上(内、演習8単位)の単位修得、かつ一定の研究成果(修士論文または課題研究レポート)の提出が必要。

II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

[教育課程編成の方針]

研究、税理士養成、ベーシックのいずれのコースにおいても、学生が目指す職業や研究の目的に即して、専門知識を効率的に学べるように、経済学基礎、理論、歴史、政策、統計・計量・情報、国際経済、法律、語学・文献調査、経済調査実習、地域調査実習の諸領域をカバーするカリキュラムを提供します。また、それら専門知識を基礎とし、指導教員による、入学から修了までの一貫した論文指導を通じて、質の高い修士論文等に結実するよう教育課程を編成しています。

[教育課程実施の方針]

授業科目は少人数で履修できる体制を整えます。演習科目では、基本的な研究方法から個々の学生の研究テーマの設定ならびに論文執筆まで、マンツーマンのきめ細かな指導を行います。2年次生は、それまでの研究成果を秋学期に開催される「中間報告会」において発表する機会をもち、研究指導教員以外の教員からも助言を受けます。

[教育評価の方針]

修得すべき知識、技能、能力に関しては、修士論文また課題研究レポートの研究成果の審査により評価します。

III アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

[求める大学院生像]

- 研究コースにあつては、経済学の理論と応用に関する研究を行い、博士後期課程へ進学して自立した研究者となることに強い意欲を持った人を求めています。
- 税理士養成コースにあつては、経済学を基礎としながら、財政学や税法の理論と応用を研究し、広い視野と深い洞察力を身につけた税理士となることに強い意欲をもった人を求めています。
- ベーシックコースにあつては、経済学の理論と応用あるいは国内外の地域政策の理論と応用を研究・調査し、専門知識を活かした高度専門職業人志望者や生涯学習に強い意欲をもった人を求めています。

[求める能力・知識と判定方法]

経済分野における課題に対して論理的に考察し、自身の考えを口頭と文章によつて的確に表現する思考力と表現力を求めています。

以上の思考力と表現力に加え、研究コースにあつては、志望する指導教員が求める専門知識と外国語能力が求められます。税理士養成コースにおいては、財政学や税法の専門知識が求められます。

入学希望者が持つそれら能力や知識の水準の判定は、専門科目、外国語、小論文などの筆記試験と、研究計画書に基づく口頭試験により行います。

博士後期課程

I ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

修了に必要な要件*を満たし、博士論文の審査および最終試験に合格し、経済学あるいは地域政策の最高度の専門知識を備え(DP1)、研究者として自立して活動できる研究能力を体得し(DP2)、自らが有する学識を教授する能力を有した者に(DP3)、博士(経済学)の学位を授与します。

*修了に必要な要件:

課程博士(甲)の場合、20単位以上(内、演習12単位)の単位修得、かつ博士論文の提出が必要。

論文博士(乙)の場合、博士論文の提出に加え、提出論文が公刊されていること(または1年以内に公刊予定であること)が必要。

II カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

[教育課程編成の方針]

博士後期課程(博士課程)では、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うために必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識とその学識を教授する能力を養うことを目指し、理論、歴史、政策、地域、統計、国際経済、法律、文献研究の諸領域をカバーするカリキュラムを提供します。また、それら専門知識を基礎とし、指導教員による、入学から修了までの一貫した論文指導を通じて、質の高い博士論文等に結実するよう教育課程を編成しています。

[教育課程実施の方針]

授業科目は少人数で履修できる体制を整えます。演習科目では、基本的な研究方法から個々の学生の研究テーマの設定ならびに論文執筆まで、マンツーマンのきめ細かな指導を行います。また、博士論文の内容に関連のある論文報告会を、適宜行い研究指導教員以外の教員からも助言を受けます。

[教育評価の方針]

修得すべき知識、技能、能力に関しては、博士論文の審査、および、公刊論文やWorking Paper (Discussion Paper)の刊行、学会報告等による研究成果の公表により評価します。

III アドミッション・ポリシー (入学者受け入れ方針)

[求める大学院生像]

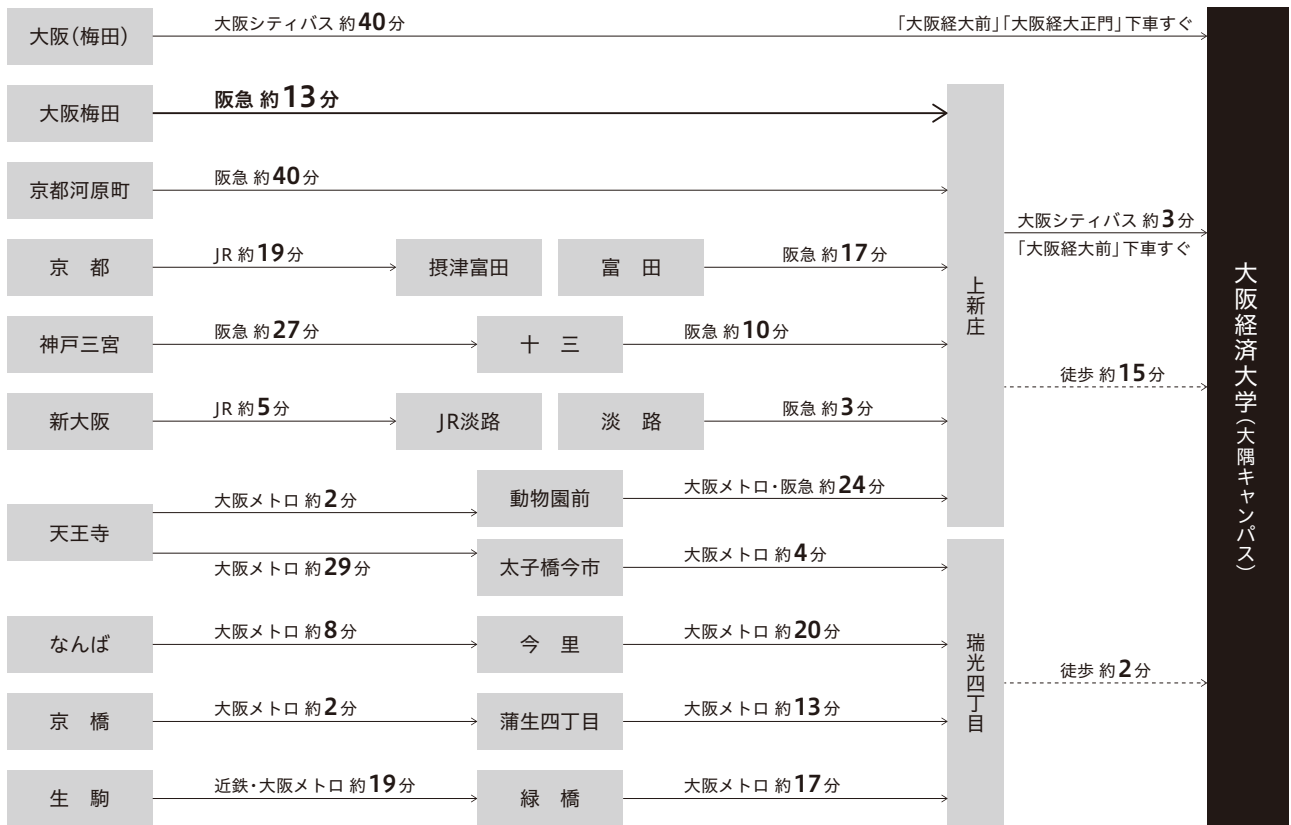
前期課程での研究を土台として、経済学の理論と応用に関するさらに深い研究を通じて独自の研究成果を生み出し、博士学位を取得することに強い意欲をもった人を求めています。

[求める能力・知識と判定方法]

経済学に関する総合的かつ高度な知識と、専門分野における優れた問題発見、分析などの研究能力および論文作成能力を求めています。

入学希望者が持つそれら能力や知識の水準の判定は、専攻分野に関する論文(修士論文を含む)に基づく口頭試験により行います。

ACCESS アクセス(本学への道順)



*乗り換えの時間は含んでいません。
 *実際にお越しになる際は、事前にご自身でもお調べください。
 *本学に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

